



第22回 光が丘健康フェア

頼れる“かかりつけ薬局”

薬剤師や栄養士になんでも相談しよう

光が丘内田クリニック
クオール薬局光が丘店
コーシャハイム第二自治会

令和8年6月3日

光が丘健康フェア

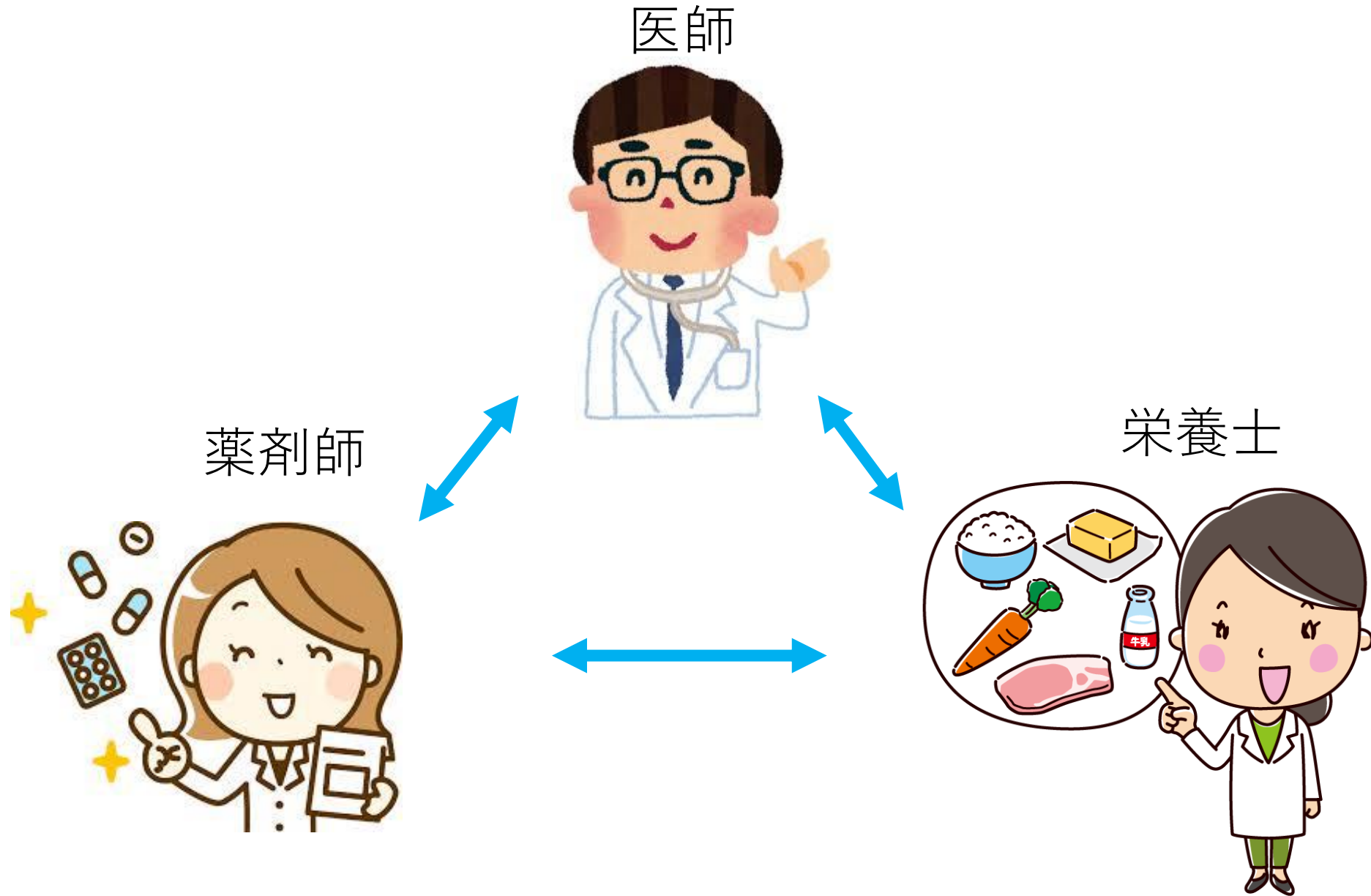
第22回

かかりつけ薬局の活用法

頼りになるパートナー

～光が丘内田クリニック 内田数海～

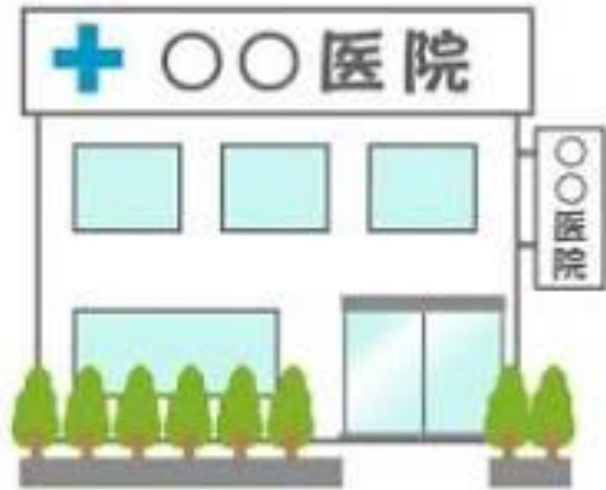
私たち 3 人が、タックを組んで皆さんの健康を守ります。



医薬分業

診察による薬の処方と調剤を分離し、それぞれを医師、
薬剤師という専門家が分担して行う

かかりつけ医



かかりつけ薬局



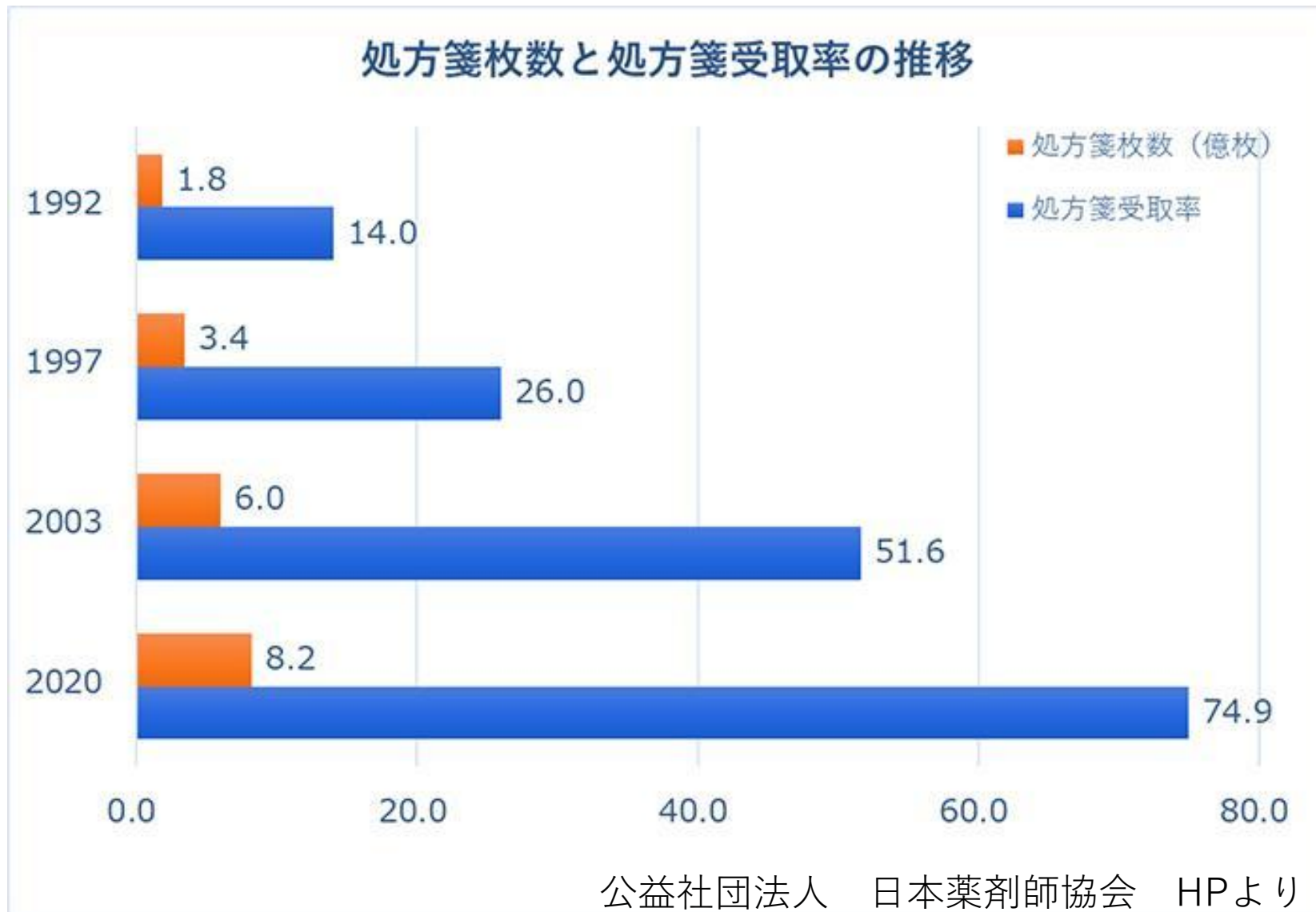
院内処方



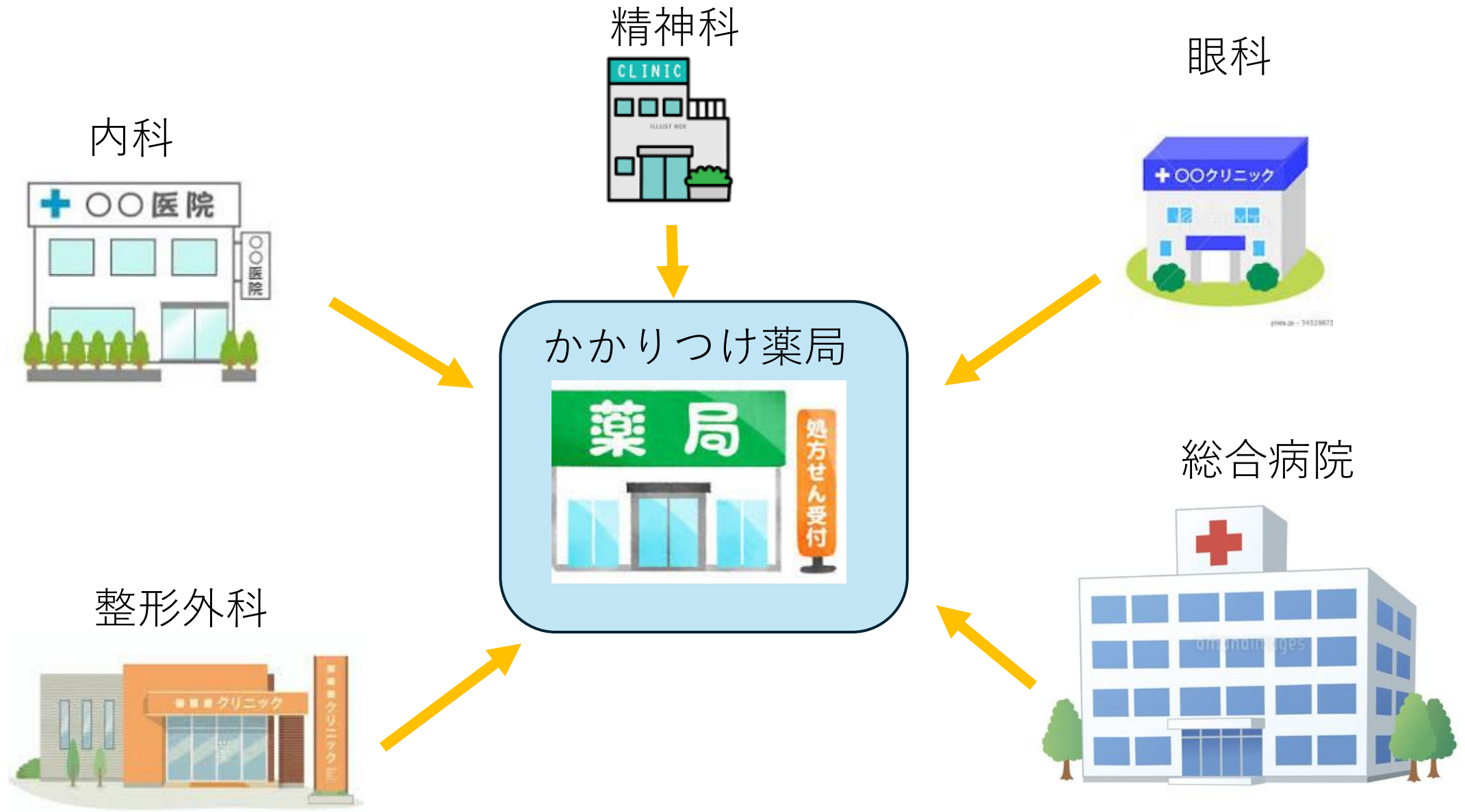
院外処方



現在、政府の方針により、かかりつけ薬局での薬の受け取りが主流になっています。



かかりつけ薬局は、複数の医院や病院の薬をまとめて、管理調整してくれます。



かかりつけ薬局は、
あなたの薬のマネージャーさん
です。



・患者さんへ薬の説明

- ・ 飲み方（一日…回、食前、食後、就寝前
屯用＜痛い時、熱が出た時だけ＞）
- ・ 効果（こんなふうに効いてきます。）
- ・ 副反応（こんな症状が出る場合があります。）



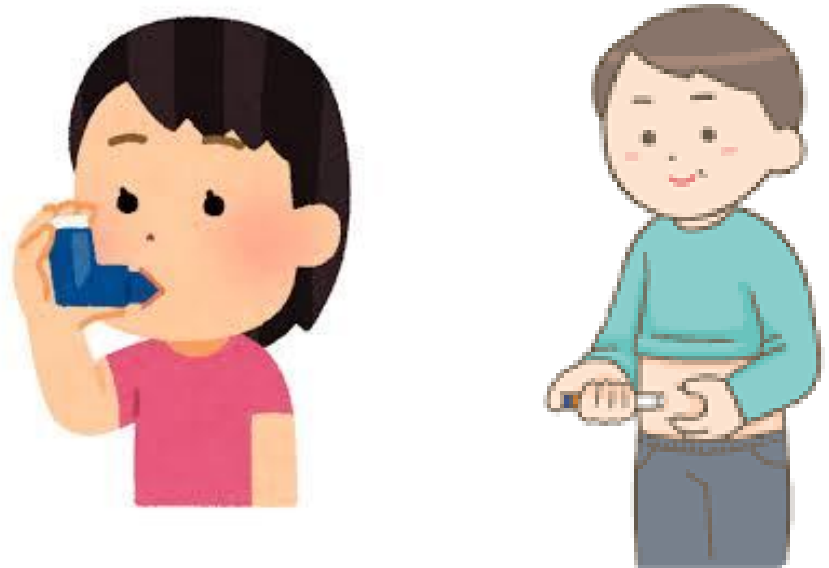
・複数の医院や病院の薬の管理

- ・飲み合わせてはいけない薬を確認する
 - ・同じ作用の薬を減らす
 - ・多い薬を優勢順位をつけて減量する
- (できれば6種類以内が理想)



・薬を飲みやすいように

- ・錠剤か粉薬か どっちがいい？
- ・朝、昼、夕 薬をまとめて 一包化
(袋にまとめる)
- ・吸入薬、注射薬の使い方の説明

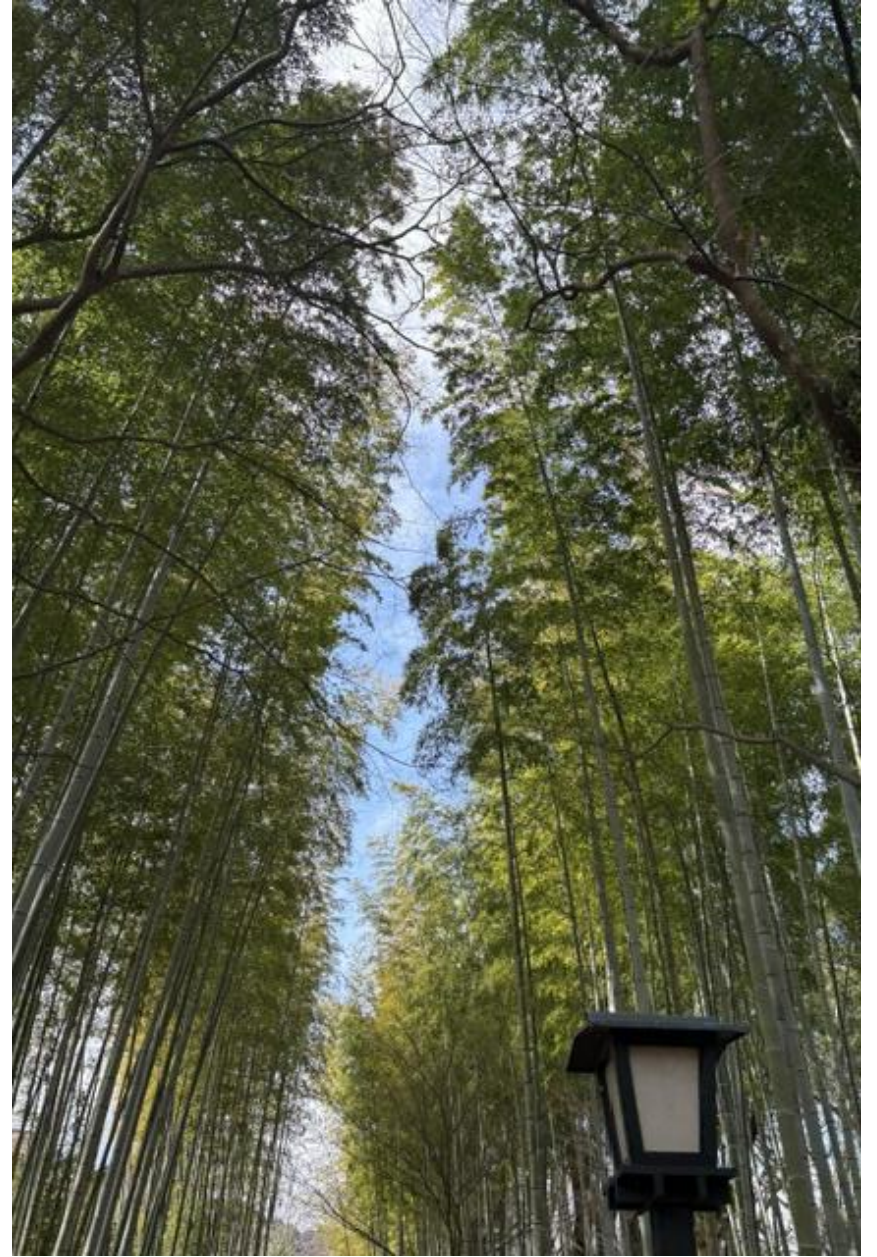


- ・飲み忘れのないように

- ・残薬の調整

- ・お薬カレンダー





修善寺温泉 独鈷（とっこ）の湯 桂川



かかりつけ薬局の頼れるパートナー

管理栄養士さん



管理栄養士さんに食事に関する相談をしましょう



たくさんの病気の治療には食事の管理が重要です。

- 生活習慣病（糖尿病、高血圧、高脂血症、痛風）
- 肥満症 過食症
- 脂肪肝、アルコール性肝炎
- 骨粗鬆症
- 高齢者の筋力低下
- 鉄欠乏性貧血
- 栄養障害（食事量の減少）
- 嚥下障害 むせこみ、誤嚥
- 慢性腎臓病
- 便秘症、下痢症
- 慢性胃炎、胃潰瘍 など

ご清聴ありがとうございました。

次回の光が丘健康フェアは、
熱中症、暑気あたりのお話を予定しています。

光が丘6丁目 バラ園

